

スイッチ現象

化学物質過敏症によくみられる現象ですが、アレルギーでもよく起こります。自分にとって強い反応を起こす物質にさらされると、他の弱い反応を起こす物質の影響は隠されて出てこなくなる現象です。

例えば、スギ花粉症が強く出現している時、いつもなら反応のでる食べ物を食べても反応が出なかったり、放射性セシウムに過敏になっている時には花粉や黄砂の反応が出にくく、合成洗剤、柔軟剤や香料によるダメージを受けている時は農薬や食べ物の反応が出にくくなるなどです。

何度も経験するとわかってくるのですが、初めのうちは、耐性ができたと思い違いをしてしまうことも多いのです。ですからアレルゲンの診断も1回だけでは十分ではありません。最も強く反応しているものを取り除いたうえで再度調べると弱いアレルゲンが明らかになることもあります。季節や行事、生活の変化によってもアレルゲンが変わってきますので、何度か調べるうちに全体像が明らかになってきます。

スイッチ現象により症状が出たり出なかったりするものですから、アレルギーはますますわかりにくくなります。但しこのスイッチ現象は免疫力の低下している人や体力の弱っている人に起こりやすいのです。以前、プロスポーツ選手のアレルギー相談に応じたことがあります。体を鍛えているだけあって、強いアレルゲンから弱いアレルゲンまですべての反応が体に出ていました。

症状の出方はスイッチ現象、免疫力、体力、などの他、アレルギーマーチ（ターゲットになる臓器が年齢、時間と共に変わっていく事）、様々な感染症の合併、思い込み等によっても変化し、複雑です。

思い込みについては成人の方にみられる事があります。そんなはずは無い、と思われる方は多いでしょうが、様々な実験で証明されているのですから認めない訳にはいきません。鯖を食べて蕁麻疹が出たことのある方に、鯖の検査用エキスだとして生理食塩水を皮内テストしますと、対照液の生理食塩水には反応せず、鯖エキスと思い込んだ生理食塩水の所のみ反応して赤く腫れる事があります。また、スギ花粉症の方に、スギ花粉の散布実験に協力を、と依頼し、蒸留水のみを噴霧したところ、鼻炎や結膜炎の症状を誘発した実験結果もあります。

化学物質過敏症や食物アレルギーを否定されたり、攻撃されたりする時によく使われる思い込み論ですが、強烈な生活体験があつての思い込みですから、まずは事実として認めその上で、治療に生かしていく方法を考えていきたいものですね。

アレルギー症状についてはスイッチ現象や思い込みなどわかりにくい事もありますが、症状が出て2週間以内なら、原因を確定することがほぼ可能ですのでご相談ください。